

青森市選挙管理委員会は18日、同市の青森第一高等養護学校と青森高校に、市営バスの車両を使った移動期日前投票所を設置した。身近な学校で期日前投票を行うことで、若者の投票率向上につなげようと、同市では初めて試行した。

車内には選挙区、比例代表それぞれ記載所と投票箱を設置。1人ずつバスに乗っては、投票を済ませた。

青森一高養の投票所では開設した1時間半で生徒や教職員、近隣住民ら27人が訪れた。終了後には、生徒が投票所を見学し、学級ごとに振り返り活動を行った。青森高では2時間開設し、56人が投票した。

投票した青森一高養高等部3年の小山内龍弥さんは「バスの中は狭く、やりづらい面もあったがう

青森市選挙管理 2校で試行 バス投票所で1票を

まくできた。（投票所が学校に来るのは）「便利」と語った。市選管は今回の事例を検証し、今後の運用の可否などを探る。

（佐藤悠多）



バス内に設けられた投票所で投票に臨む青森一高養の生徒

※この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです